

第10回刈谷市障害者自立支援協議会議事録

日 時 平成23年3月17日（木）午後3時00分～4時30分

場 所 刈谷市役所 502会議室

委 員（敬称略）

<出席者>

愛知教育大学	都 築 繁 幸
医療法人成精会	垣 田 泰 宏
社会福祉法人ひかりの家	大 南 友 幸
NPO法人パンドラの会	岡 部 扶 美 子
NPO法人かきつばたフレンズ	鶴 田 理
社会福祉法人観寿々会	堤 勝 彦
NPO法人くるくる	鈴 木 規 正
刈谷市社会福祉協議会	鈴 木 英 仁
刈谷商工会議所	三 品 康 雄（代理）
刈谷公共職業安定所	高 木 雅 也
刈谷児童相談センター	小 野 隆 俊
衣浦東部保健所	藤 浦 なつ子
愛知県立安城養護学校	近 藤 道 弘
愛知県立ひいらぎ養護学校	山 盛 登 代 子
刈谷市福祉健康部	稲 垣 武

<欠席者>

刈谷市教育委員会	山 田 基
----------	-------

<相談支援従事者>

刈谷市社会福祉協議会障害者相談支援センター	関 美 智 子
刈谷市障害者相談支援センターこころ悠々	増 子 恵 子

（事務局）

福祉健康部 政策監	伊 藤 之 雅
〃 調整監兼障害福祉課長	永 田 孝 雄
障害福祉課 主幹	後 藤 桐 敬
〃 障害援護担当総括	宮 田 俊 哉
〃 障害援護担当	磯 村 典 弘

開会

資料の確認

- ・ 次第
- ・ 刈谷市障害者自立支援協議会部会員名簿
- ・ 資料1 各部会スケジュール（平成22年度）
- ・ 資料2 「グループホーム・ケアホーム部会」中間報告について
- ・ 資料3 「相談支援部会」中間報告について
- ・ 資料4 「障害者支援施設検討部会」中間報告について
- ・ 資料5 相談支援事業所活動報告（刈谷市社会福祉協議会障害者相談支援センター）
- ・ 資料6 相談支援事業所活動報告（障害者相談支援センターこころ悠々）
- ・ 資料7 刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画について

会長あいさつ

議題（1）各部会の検討結果の報告について

堤 委員 資料2により「グループホーム・ケアホーム部会」中間報告について説明

会 長 ただいまの説明に対し質問、意見等あればお願いします。部会員で補足説明などありますか。

委 員 今回の利用者さんは全て在宅からの利用となっており、以前は親御さんと一緒に住んでいた。生活習慣の違いなどで当初はストレスもあったと思うが現在では慣れてきた。新しいケアホームは定員3名で刈谷市の方2名、知立市の方1名で現在宿泊訓練を行っているところである。4月から正式にスタートする。

委 員 ひかりの家の整備としては、先日県から補助金の内示があったが、今回の災害の影響で国の予算が採択されるのか心配している。重度の障害者の方が対象となっているので通常の整備よりも経費が掛かる試算が出てきている。自立支援法の改正や県補助金の廃止など当初の予定になかった要素もあるが障害者が地域で暮らすための先進的なホームであり、協議会のみなさんや刈谷市の協力を得て何とか予定どおり開所したいと考えている。

委 員 成精会のグループホームの課題である夜間や緊急時の対応としては訪問看護と入院していた時の病棟の看護師が電話などで対応している。現在のホームはエレベーターのない賃貸物件の2階3階を利用しており入所者の高齢化も課題となっている。

会 長 他に意見ありますか。では資料の今後の検討課題に沿って部会において引き続き検討をお願いします。

続きまして、相談支援部会の中間報告について大南委員をお願いします。

大南委員 資料3により「相談支援部会」中間報告について説明

会 長 ただいまの報告について質問、意見等あればお願いします。

委 員 事業所間の連携については非常に興味深い。児童相談所は現在児童虐待が大きな問題となっているが、発達障害の子に対して特性や対応の仕方が理解できない親が虐待するというケースが多い。親に行動特性などを理解してもらうため方策についてもさらに議論を深めていってほしい。

健康課で健診時に得られた支援が必要な子どもの情報を保育園や幼稚園への就園時引き継ぐことは非常に大事なことで、集団生活が出来るか加配の職員が必要かなどの判断材料になる。先入観を持たれるので情報提供しないとの考えではなく情報提供したほうが良い。

委 員 私の事業所にも就学前の子どもの相談があるが来年度からは新保健センターも運用を開始し相談支援部会も連携していくとのことだが処遇困難ケースがあった場合は相談支援部会に報告していけば良いか。それとも保健センターに相談すれば良いか。

委 員 保健センターへの相談は障害が確定する前の段階になっていくと推測される。障害に関する相談については社協やこころ悠々の相談支援センターに相談し、さらに処遇困難ケースであれば相談支援部会でも検討していくことになる。

従来どおり相談支援センターの活用をお願いしたい。

委 員 新保健センターは総合健康センターという名称で4月1日にオープンする。3階建てで1階には保健センターの機能、2階は子育て支援センターの機能、3階は生活習慣病や体力の低下してきた方を主な対象としたトレーニング施設の機能となっている。

2階の子育て支援センターにはふれあいの里にあった療育機能も併せ持つことになっており、見守り室なども設けられている。

相談についてはどこか1か所で全部ということではなく複数の相談場所を実施しお互いが連携していくということで当面進めていきたい。新保健センターには現在の保健センターと療育機能が移転してくるということで理解いただきたい。

会 長 情報共有のシステムの検討ということだが、現在でも個人の支援計画やフェイスシートなど作成していると思うが、養護学校には就学する際幼稚園や保育園からはそういった情報は提供されているのか。

- 委員 碧南市では個人ごとの情報をサポートブックという形で作成し、親が管理していろいろな機関に相談する際に親から見せるという方式である。
- 委員 保健センターは健診票を基に個人記録を作成していると思うので既存のものを活用して情報提供について検討していけば良い。親御さんが携帯して相談する機関に情報提供できるような物が出来ると良い。
- 委員 現在高等部で指導しているが、養護学校内の小・中・高校では共通の様式で作成情報を共有している。就学前相談の状況は様式の中に記入欄があるので記入されている。
- 委員 先ほどの確認だが子どもの相談で困難事例があった場合は社協の相談センターに相談すれば良いか。
- 事務局 事業所など各機関の相談でその機関だけで対応できない場合は、相談支援部会の連携の中で課題の解決に向けて検討していくことになる。その中でも解決できない大きな課題については相談支援部会からこの自立支援協議会に報告することになる。
- 委員 子育て支援センターの相談部門には障害児の部門はあるのか。あるのなら専門家も配置してほしい。
- 事務局 子育て支援センターには検診の結果、様子を観察する機能としてのラッコちゃんルームがある。
- 相談員 愛教大の先生や言葉の専門の先生に来てもらっており、専門的な立場からの支援もしている。
- 会長 発見から療育へのつなぎ部分について以前はなかったが重要な点であり、現在では専門家が介入しておりシステムとしては前進している。
- 委員 幼少期にどれだけ療育、親への教育が出来るかで将来が大きく変わってくるので力を入れてほしい。
- 委員 養護学校の力不足もあるが進路が決定していない生徒がいる。来年度の相談支援部会にお願いしたい点がある。障害程度区分が低く出るケースがあるので認定調査を適切に実施してほしい。進路先が見つからないケースの場合親への説明についてはタイムスケジュールや将来の見通しを示すなど丁寧な対応をお願いした

い。最後に刈谷市内の受け入れ側の事業所が少ないと思うので事業所を増やすための支援をお願いしたい。

会 長 委員も相談支援部会の部会員でもあるので、そういったことはぜひ相談支援部会で検討していただき、ケース検討を通して課題を整理し必要があれば次回の協議会で提言してほしいと思います。

続きまして、障害者支援施設検討部会の中間報告について垣田委員お願いします。

垣田委員 資料4により「障害者支援施設検討部会」中間報告について説明

(質疑なし)

会 長 それでは各部会の報告にあった今後の検討課題について、今日各委員からの発言も踏まえて引き続き検討を進めていただくよう、よろしく申し上げます。

議題（２）相談支援事業の報告について

事 務 局 相談支援事業所の概要について説明
刈谷市社会福祉協議会相談支援センター関相談員
刈谷市障害者相談支援センターこころ悠々増子相談員
から資料5及び資料6によりそれぞれの事業所の活動報告について説明

会 長 ただいまの報告について質問、意見等あればお願いします。

委 員 資料6のこころ悠々の報告について相談実人員に対して相談件数が下回るのどのような理由か。

相 談 員 親と本人が相談に訪れた場合については相談件数1件に対し実人員2名とカウントしているので、実人員が多くなると考えられる。

会 長 ここまでの総括として稲垣委員何か意見はありますか。

委 員 今年度の協議会はこれが最後になるが23年度も引き続きご協力願いたい。
3点ほどあり、1点目として23年度は自立支援法の新体系への移行の最終年度にあたるので協力をお願いしたい。

次に部会の報告にもあったとおり、障害者支援施設については来年度改修を行い、9月議会に設置条例を上程し、12月議会で管理者の指定、24年4月開所に向けて準備を進めている。

3点目は民主党政権になって25年8月までに「(仮称)障がい者総合福祉法」の施行が予定されているがそれまでのつなぎとして「障害者自立支援法」の改正が行われる。情報が入りしだい逐次報告させていただく。

議題(3) その他

刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画について

事務局 資料7により刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画について説明

(質疑なし)

会長 その他事務局から何かありますか。

事務局 この自立支援協議会の今後についてですが、来年度も引き続き開催したいと思います。開催については改めて案内をいたしますのでよろしく願いいたします。

会長 その他委員のみなさんから何かありますか。

委員 刈谷地区心身障害児者を守る会主催で3月27日に刈谷の総合文化センターで講演会とコンサートを開催するので参加についてご協力をお願いしたい。

委員 児童デイサービス、就労継続B型、くるくるクリーニング2号店の拠点を大正町に設ける。3月21日に開所式を行うので出席のほうをお願いしたい。

委員 就労継続A型でがんばっているが、震災の影響もあってケーキが予定より売れない。購入について協力をお願いしたい。

会長 他に意見のある方いますか。
では以上をもちまして終了いたします。ご協力ありがとうございました。